

「第3期中野市子ども・子育て支援事業計画（案）」に対する パブリックコメント手続の実施結果

「第3期中野市子ども子育て支援事業計画（案）」に対する貴重なご意見をお寄せいただき誠にありがとうございました。

いただいたご意見の概要と市の考え方を取りまとめましたので公表します。

なお、ご意見の一部については、趣旨を損なわない範囲で要約又は集約して掲載させていただきましたので、ご了承ください。

1 募集期間 令和7年2月13日（木）～令和7年3月6日（木）

2 募集方法 郵送、FAX、電子メール及び持参による方法

3 募集結果

(1) 提出者数 2名

(2) 意見数 2件

(3) 提出方法別意見数

提出方法	提出者数	意見数
郵送	0人	0件
FAX	0人	0件
電子メール	1人	1件
持参	1人	1件
(計)	2人	2件

(4) 項目別意見数 ※必要に応じて記載

項目	意見数
魅力ある学校教育の推進に関する事項	1件
特別な支援を要する家庭への支援に関する事項	1件
(計)	2件

4 計画（案）を修正した箇所 修正した箇所はありません

5 意見の概要とそれに対する市の考え方 別紙のとおり

問い合わせ先

中野市子ども部子育て課子ども支援係

電話 0269-22-2111（内線361）

FAX 0269-22-5901

電子メール kosodate@city.nakano.nagano.jp

「第3期中野市子ども・子育て支援事業計画（案）」に関する
意見の概要とそれに対する市の考え方

■全般的な事項

No	意見の概要	市の考え方	修正
1	<p>今までの少子化対策として国でも対策しておりますが、全く改善しておりません。市や県レベルではなく国会の中でもっと議論されるべき問題だと思います。中野市独自の教育プログラムとして教育勅語、道徳教育を採り入れる。「末学」は手法や手段を考える学問、「本学」はその目的や背景を考える学問であるように、今の学校教育は「偏差値教育のみ」テストの点数が高い人が偉いみたいな教育になっております。</p> <p>探究心を忘れ、どう生きるかわからなくなり、不登校やいじめが過去最多となったのです。</p> <p>また、医療費や社会福祉費を、もっと子供達や子供を産み育てる家庭に与えてください。ここで子供が生きたいと思える「環境」をつくりましょう。</p>	<p>少子化対策は、国全体の問題であると認識しておりますが、本市においても重要な課題でありますので、個々の施策を検討し、子どもが生きたいと思える環境づくりに努めてまいります。</p>	—
2	<p>施策5 特別な援助を要する家庭への支援についてです。</p> <p>特別児童扶養手当の認定及び障害児の通う放課後サービス料金について、国や長野県の定めるところによるものなので、どうすることもできないかもしれません。これからの「学校給食無償化」は国に先駆けて、長野県の市では初の子育て支援です。中野市独自の子育て支援が障害児にも向けてもらえたらと願っています。本当の意味での中野市の子供達全員が安心して暮らせる街であってほしいです。</p>	<p>国や県の定めによる子育て支援以外の市独自の支援につきましては、可能な限り検討して参ります。</p>	—